

発達障害アセスメント研修②応用編 「PARS-TR 概論」の概要

1 研修の目的

アセスメントツールを使用することで、発達障害の特性を客観的にとらえたり、子どもの行動観察や保護者面接に活かす視点を得ることができます。この研修では、フォーマルなアセスメントツールの1つである PARS-TR について、概要や数値の意味を知ることで、アセスメントの視点を学び、専門機関等で実施した検査結果を日常の支援計画に活かすことを目指します。

○アセスメントツールとは

アセスメントに用いられる標準化された検査方法をアセスメントツールといいます。結果を数値化することで、客観的に評価を行うことができます。

○PARS-TRとは

自閉症スペクトラムの特性と支援ニーズをつかむためのアセスメントツールです。養育者に面接する形で実施し、生活上の困難さの背景に、自閉症スペクトラムの特性が関係している可能性について評定します。面接を通じて、養育者と支援者が子ども（支援対象者）の発達特性や行動面の理解を深めることができます。3歳～成人まで使用できます。

2 対象者 ※さいたま市を除く

- ・発達障害支援専門研修受講者（保健師・児童発達支援センター職員・児童発達支援事業所職員・放課後デイサービス職員）等
- ・各専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理士）

3 会場

埼玉県発達障害総合支援センター 研修室
（小児医療センター南玄関3階）

※小児医療センター正面玄関からは入れません。

4 研修日程

平成30年9月12日（水）

13:30～17:00（開場13:00）

5 講師

黒田 美保氏（名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部子どもケア学科 教授）

6 申込方法

埼玉県ホームページから、電子申請システムでお申し込みください。

総合トップ→組織情報→発達障害総合支援センター→平成30年度研修一覧（支援者向け）

→発達障害支援専門研修→発達障害アセスメント研修②応用編



7 申込期間

平成30年7月2日から8月31日まで

定員60名

*受講決定通知は発行しません。定員に達し次第、受付を終了します。

8 受講時の注意事項

○公共交通機関をご利用ください。小児医療センターの駐車場利用減免はできません。

○検査結果を集計する演習（計算作業）があります。

○本研修で扱うアセスメントツールには著作権があり、実際に使用する際には購入する
必要がありますので御承知おきください。

埼玉県発達障害総合支援センター

地域支援担当

Tel:048-601-5551 Fax:048-601-5552

mail: m015551@pref.saitama.lg.jp